

地球環境局総務課研究調査室

1. 事業の概要

平成21年6月に宇宙開発戦略本部(本部長:内閣総理大臣)により決定された「宇宙基本計画」では、人工衛星データの解析結果を通じた、国際的な議論の場でのイニシアチブの発揮や、宇宙開発利用の推進にあたっての国際的なニーズ等把握の必要性、諸外国における宇宙開発利用動向の調査及び分析機能の強化について言及されている。

本事業では、「いぶき」をはじめとした地球環境分野における衛星データ利用の促進並びに宇宙基本計画の一層の推進に貢献するため、温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)観測データの国際会議での公表、国際ワークショップ等の開催等を通じて、地球環境観測分野における衛星利用の一層の推進を図るとともに、将来の取組に向けて、「いぶき」以外の地球観測衛星の開発・利用についても、中・長期的な検討を行う。

2. 事業計画

「いぶき」のデータ解析により得られた成果について、国際会議におけるサイドイベント等における公表や、国内外の研究成果を集約した国際ワークショップの開催等を通じて、「いぶき」のデータ利用の推進を図る。ワークショップの開催は平成22年度より定期的に実施する。また、「いぶき」より得られた成果を、わかりやすいビジュアル的な情報に加工し、パンフレットやウェブサイト等を通じて、定期的に広く国民に提供する。

また、宇宙基本計画に示される、温室効果ガスや植生変化、雲・エアロゾル等の地球環境観測について、国内外における宇宙開発利用動向の分析、調査及び宇宙開発利用へのニーズ把握を行うとともに、専門家参加による検討会の実施等により、センサー仕様やデータ提供体制等、地球環境分野における社会的ニーズに対応した中・長期的な衛星開発・利用の検討を行い、検討結果を定期的に取りまとめる。

3. 施策の効果

「いぶき」観測データの利用推進による、地球温暖化分野の科学的知見向上、普及啓発の促進や、地球環境分野における宇宙開発利用の動向、中・長期的な衛星開発・利用の検討等により、宇宙基本計画の一層の推進に貢献する。

衛星による地球環境監視推進費

- ・平成21年6月 「**宇宙基本計画**」の決定(宇宙開発戦略本部:内閣総理大臣が本部長)
- ・「**地球環境観測・気象衛星システム**」が9つのシステム・プログラムの一つに位置づけ。

温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)データ利用の推進

(宇宙基本計画より抜粋)

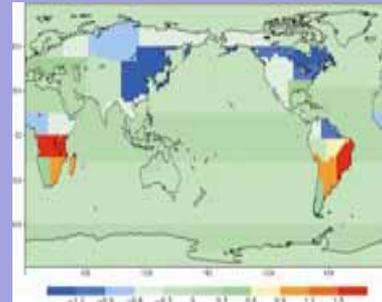
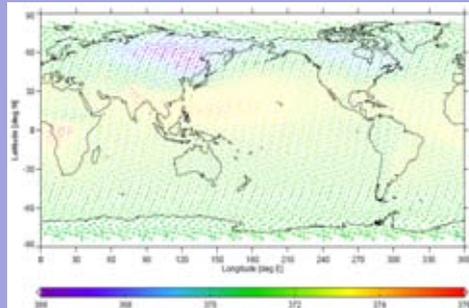
- ・「いぶき」による**全球の濃度分布の観測を継続的に進める**
- ・衛星から得られるデータの取得・公表だけでなく、**データ解析結果の発信を通じて、国際的な議論の場で我が国のイニシアチブを發揮**
- ・**専門家にととまらず潜在的な一般の利用者も含めた利用者の拡大を図るとともに、衛星データ等利用の利便性向上を図ることなどが重要**



いぶき
(GOSAT)
平成21年1
月打上げ

「いぶき」による温室効果ガス濃度観測成果

「いぶき」の観測より得られる、地域ごとの温室効果ガス吸収排出量



一般にわかりやすいビジュアル的な情報に加工

- ・「いぶき」の観測成果の**国際会議等への公表、国内外の研究成果を集約した国際ワークショップの開催**
- ・**国民へのわかりやすい情報提供(Web・パンフレット等)**

地球環境分野における地球観測衛星開発・利用の中・長期検討

(宇宙基本計画より抜粋)

- ・社会的ニーズを明確にし、それらのニーズを満たすために求められる対応を目標として設定した上で、必要な施策を推進
- ・宇宙開発利用の推進にあたっては、**災害対応、地球環境等についての国際的なニーズや海外諸国のニーズ等を把握し、実効性のある国際貢献につながる必要がある**
- ・世界をリードする科学的成果の創出や諸外国との協力の観点からも、**海外の宇宙開発利用動向の把握が必要**

宇宙基本計画に示される「地球環境観測」の具体例

- ・温室効果ガス濃度及びそのフラックス(吸収排出量)
- ・植生の分布
- ・雲・エアロゾルの分布

- ・**国内外の宇宙開発利用動向の分析・調査、ニーズ把握**
- ・**専門家参加による検討会の実施、社会的ニーズに対応した地球観測衛星開発・利用の取りまとめ**